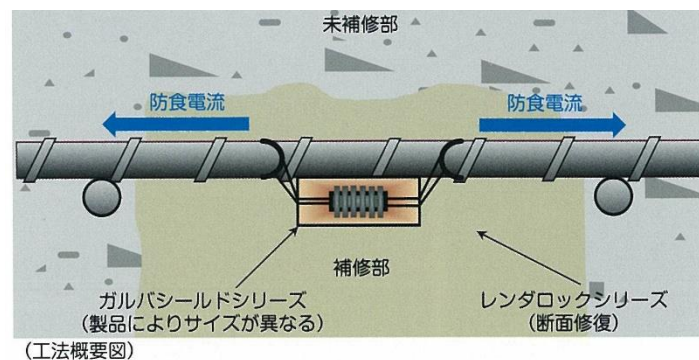


特徴

ガルバシールド工法は、塩害・中性化などで劣化したコンクリート構造物の鉄筋に亜鉛を犠牲としたガルバシールドを設置することで、電気化学的作用により鉄筋腐食反応を抑制し、レンダロックモルタルにて断面修復を行う工法です。断面修復は、比抵抗及びガルバシールド防食性能（有効範囲）確認済みのレンダロックモルタル（左官、吹付け、注入）にて行います。



長期防錆効果

腐食環境に対応して発電するため、過電流がなく長期間の補修効果が期待できます。



簡単施工

既設鉄筋に犠牲陽極材を取り付けるだけの簡単・迅速な施工です。

大掛かりな電源装置などは使用しません。

工期短縮

複雑な配線工事などがなく、工期短縮が可能です。

優れた経済性

局部的な補修が可能で外部電源式の工法に比べコストが安価です。

外部電源不要

犠牲陽極材の自己発電を利用するため外部電源は不要です。

製品一覧表

	XP	CC135	CC65	XP2	XP4	DAS
施工方法	直接設置	コア削孔	コア削孔	直接設置	直接設置	直接設置
防食レベル	鉄筋防錆 (マクロセル)	腐食抑制	腐食抑制	腐食抑制	腐食抑制	電気防食
寿命	約 15 年	約 15 年	約 15 年	約 15~22 年	約 22~35 年	~35 年
亜鉛量	60g	60g	60g	100g	160g	~3kg/m
防食性能	小  大					

※耐用年数は、腐食環境により前後することがあります。

施工例



【BOX 擁壁修復】



【橋台修復】



【ガルバシールド XP4】



【ガルバシールド XP4】